

サンゴ礁ウィーク2023オンライン 実施報告書



2023年5月

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
広報委員会

■実施概要

1. オンライン企画

【タイトル】 知ろう、話そう、伝えよう 沖縄のサンゴ礁の今！

【目的】 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会では、サンゴ礁の保全に関する様々な活動が相互に繋がりを持ち、サンゴ礁を大切にする県民の心を育むことを目的として、平成25年度から毎年、3月5日（サンゴの日）を中心とした2～3週にわたって「サンゴ礁ウィーク」を主催しております。本年は、新型コロナウイルスの感染予防および離島県として多くの皆様が参加しやすい形をとることを鑑み、3月5日（日）にオンラインセミナー・ワークショップの形で、サンゴ礁研究の最新情報やサンゴ礁の環境教育に関する話題を提供し、サンゴ礁保全に関わる皆様や関心のある一般市民の皆様との情報交換と交流の場を作ることで、沖縄のサンゴ礁保全の推進に寄与することとします。

【実施日時】 令和5（2023）年3月5日（日）10:00～15:30

【実施形態】 Zoomを用いたオンラインセミナー・ワークショップ

【Zoomミーティングアドレス】 <https://us02web.zoom.us/j/86859639746>

ミーティングID: 868 5963 9746 パスワード: sango2023

【対象】 サンゴ礁保全に関わる人や関心のある一般市民

【募集人数】 上限100名、Google forms を用いて募集 → <https://forms.gle/vvrBzwyFozgnpMio8>

【参加募集期間】 令和5（2023）年2月22日（水）～ 3月3日（金）

【参加費】 無料

【費用】 話題提供者4名に謝金として各1万円を支払い

【協賛】 アラムコ・アジア・ジャパン株式会社

【内容】 司会進行：鹿谷 麻夕（サンゴ礁ウィーク2023事務局 / しかたに自然案内）

第1部 10:00 - 12:00 「沖縄のサンゴ礁の今を知る」

- 「協議会のこれまでとこれから」中野 義勝（沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 会長）
- 質問コーナー「教えて！サンゴとサンゴ礁のなんでも質問箱」
※参加申込み時の Google forms にて質問を募った質問に対してサンゴ研究者らが回答
- 「沖縄のサンゴ白化の今」中村 崇（琉球大学 理学部）
- 「沖縄の潮間帯の昔と今」水山 克（産業技術総合研究所）

第2部 13:30 - 15:30 「サンゴ礁を伝えよう - 沖縄の環境教育の今」

- 「話題の軽石を学びに！軽石から自然の営みを考える環境教育プログラム」丸谷 由（ネコのわくわく自然教室）
- 「石垣島発！サンゴ礁を学び伝えるプログラムの歩み」大堀 健司（わくわくサンゴ石垣島）
- サンゴゆんたくタイム「もっと研究と教育をつなげよう！」

【Zoom録画と資料配布、アンケート、実施報告について】

- ・ Zoomの様子は録画を行い、参加申込者のみに期間限定（3月末まで予定）で公開
- ・ 話題提供者の資料について、配布可能なものは参加者へ配布
- ・ 参加後に Google forms にて参加アンケートを実施
- ・ 今回の内容を実施記録としてまとめ、後日協議会サイトにて公開

【広報】 広報委員会にてフライヤー画像を作成、2/22 より協議会メーリングリスト、協議会ウェブサイト、サンゴ礁ウィーク Facebook ページにて広報を展開した。また協議会会員や関係者に宣伝拡散を呼びかけた。

- ・ 協議会ウェブサイト <https://coralreefconservation.web.fc2.com>
- ・ サンゴ礁ウィーク Facebook ページ <https://www.facebook.com/coralreefweek/>

サンゴ礁ウィーク2023オンライン
知ろう、話そう、伝えよう
沖縄のサンゴ礁の今！

2023 3/5 SUN 10:00 - 15:30

ZOOM 開催
無料・要お申込み
3/3まで受付

参加お申込み
↓こちらから↓

おとなも子どもも
なんでも聞いてみよう！
当日、プロの研究者が
お答えします。

**サンゴやサンゴ礁の
ギモンしつもん大募集！**

第1部 10:00 - 12:00
＜沖縄のサンゴ礁の今を知る＞

- 協議会のこれまでとこれから
中野 義勝 (沖縄県サンゴ礁保全推進協議会)
- 教えて！サンゴとサンゴ礁のなんでも質問箱
サンゴ研究者のみなさん
- 沖縄のサンゴ白化の今
中村 崇 (琉球大学 理学部)
- 沖縄の潮間帯の昔と今
水山 克 (産業技術総合研究所)

第2部 13:30 - 15:30
＜サンゴ礁を伝えよう
ー 沖縄の環境教育の今＞

- 話題の軽石を学びに！軽石から自然の営みを考える環境教育プログラム
丸谷 由 (ネコのわくわく自然教室)
- 石垣島発！サンゴ礁を学び伝えるプログラムの歩み
大堀 健司 (わくわくサンゴ石垣島)
- もっと研究と教育をつなげよう！
サンゴゆんたくタイム

サンゴ礁ウィーク2023事務局
shikatani.ngs@gmail.com

主催：沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
協賛：アラムコ・アジア・ジャパン株式会社 aramco

図. オンライン企画フライヤー画像

2. サンゴ礁ウィーク2023タイアップイベント募集

【目的】 サンゴ礁ウィークの周知、および民間団体等で行なわれるサンゴ礁保全イベントのサポートを目的として、サンゴ礁ウィーク 2023 にタイアップするイベント企画を募集、協議会ウェブサイト内のサンゴ礁ウィーク 2023 ページおよび Facebook ページにてイベント広報を行う。内容は、サンゴ礁保全に繋がる内容や趣旨のものとする（海の観察会、サンゴ学習会、研究発表、ビーチクリーンなど）。

【募集期間】 令和5（2023）年2月18日（土）～ 3月10日（金）

【イベント実施期間】 令和5（2023）年2月25日（土）～ 3月31日（日）

【募集】 Google forms を用いて募集 → <https://forms.gle/ju2SaRBNQPQijyo17>

【イベント広報掲載媒体】 ・協議会ウェブサイト内サンゴ礁ウィーク 2023 ページ
<https://coralreefconservation.web.fc2.com/sangoweek/sangoweek2023.html>

・サンゴ礁ウィーク Facebook ページ <https://www.facebook.com/coralreefweek/>

2023. 2. 25
- 3. 31

この期間中の
サンゴ礁保全に
つながる **イベント** を
サンゴ礁ウィーク に
エントリー
しよう!

お問い合わせ
**サンゴ礁ウィーク
2023事務局**
shikatani.ngs @
gmail.com
(しかたに自然案内)

エントリーシートは
こちら!

エントリー締め切り
3/10 fri

主催
**沖縄県サンゴ礁
保全推進協議会**

海の観察会
サンゴの勉強会
研究発表
ビーチクリーン...

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
**サンゴ礁
ウィーク** 3月5日は
サンゴの日

サンゴ礁ウィーク
のサイトやSNSで
広報 をお手伝い!

3月5日は
サンゴの日!

QRコード

図. イベントエントリー募集フライヤー画像

■実施結果

1. オンライン企画

【参加申込状況】合計 93 件の参加申し込みがあった。うち、当日参加希望が半数以上の 54 名 (55.39%)、また録画の後日視聴希望が 4 割近くであった。

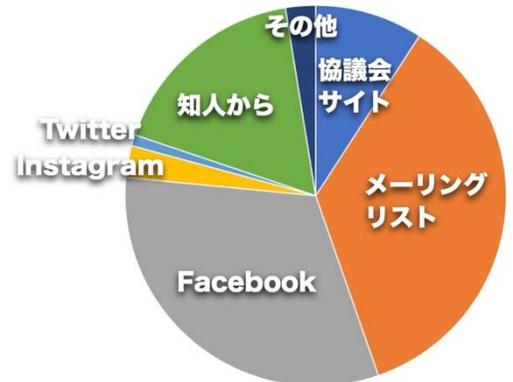
1. 第 1 部・第 2 部とも参加 45名 (48.4%)
2. 第 1 部のみ参加 7名 (7.5%)
3. 第 2 部のみ参加 2名 (2.2%)
4. 後日視聴を希望 36名 (38.7%)
5. その他 3名 (3.3%)



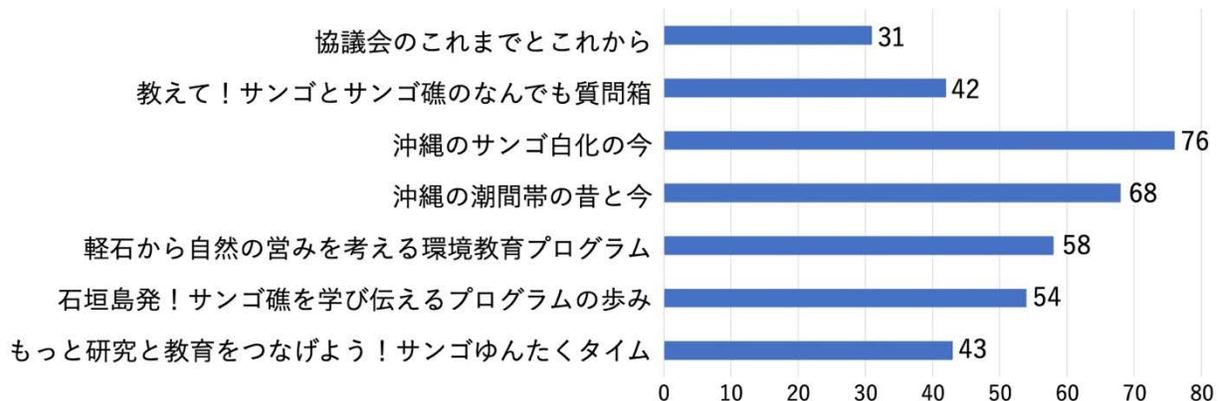
【申込時アンケート結果】参加申込時にアンケート項目を用意した。その結果は次の通り。

■この企画を何でお知りになりましたか？（複数回答可）（93件）

1. 協議会のサイト 10 (10.8%)
2. メーリングリスト 39 (41.9%)
3. Facebook 35 (37.6%)
4. Instagram 3 (3.2%)
5. Twitter 1 (1.1%)
6. 知人からのメールや口頭での紹介 19 (20.4%)
7. その他 3 (3.3%)
 - ・ネコのわくわく自然教室 (2)
 - ・協議会構成員 (1)



■興味があるプログラムはどれですか？（複数回答可）（93件）



■「教えて！サンゴとサンゴ礁のなんでも質問箱」企画を行います。サンゴやサンゴ礁についての疑問・質問をお書きください。当日、協議会やご参加のメンバーでわかる限りお答えしようと思います。（13件）

- ・座間味島の古い石垣にはかなり大きなサンゴ由来かと思われるものがあるのですが、大きいとどの位？重さはどの位？
- ・ 1. うるま変動のメカニズム 2. 移植したサンゴの実情（延べ移植群体数、生存数、平均生存年数など） 3. サンゴの CO2収支、サンゴ礁の CO2収支 4. 白化耐性の順応メカニズム、適応メカニズム
- ・ コロナが始まってからの沖繩本島西海岸のサンゴが元気なのは何が原因か？ただの気象の変化の関係、観光客の激減で陸域からのインパクトが減ったから、ただ単にそういう年が続いたから、漁業者やレジャー客がコロナのせいで海に出る回数が激減したからなど、何か解った事はあるのでしょうか？

- ・近年沖縄におけるサンゴ移植の成果をどう評価しますか？
- ・サンゴ礁がなくなると魚は絶滅しますか？
- ・今後温暖化が進むにつれて私たちがサンゴの為に出来ることってなんですか？
- ・浦添西海岸（PARCO前）の珊瑚礁が、どれだけ貴重なものなのか、なぜ保全すべきなのか、わかりやすい解説をぜひお聞きしたいです。
- ・地球温暖化（海水温の上昇）によってサンゴが減少していると聞いていますが、このような環境下でも増えているサンゴもあるのでしょうか？
- ・（サンゴ）移植・植え付けが伊豆半島でおこなわれています。現在は、徐々にサンゴが自生していますが、ヒトの手を加えてまで育成するべきなのか？育てばいいってもんじゃないのでは？
- ・沖縄に珊瑚礁の健康と稚魚の数を結ぶ研究がありますか？
- ・白化したサンゴは回復することはないのでしょうか？（初歩的な質問ですみません。）
- ・私達にできることはなんですか
- ・①サンゴの種類はどのくらい知られているのでしょうか。また、その分類基準はどのようになっているのですか？ ②私たちが住んでいる石垣島では、水温の上昇や赤土流出、オニヒトデの食害により、サンゴが白化し、海の健康が損なわれていると聞いています。一番、サンゴの白化につながる原因は何ですか？

【当日のタイムテーブル】

時間	所要時間	内容
9:30		Zoom 開始、話題提供者の接続・画面共有確認（Zoom ホスト：鹿谷 麻夕）
9:45		Zoom 一般参加者へオープン
10:00	10分	開会・第1部「沖縄のサンゴ礁の今を知る」あいさつ 中野 義勝 アラムコ・アジア・ジャパン 茨田 弘美様 あいさつ 趣旨と流れの説明
10:10	15分	「協議会のこれまでとこれから」 中野 義勝
10:25	15分	質問コーナー「教えて！サンゴとサンゴ礁のなんでも質問箱」 → あらかじめ寄せられた質問に対して協議会メンバーや参加者がお答えします。
10:45	20分	「沖縄のサンゴ白化の今」 中村 崇
11:05	10分	質問、意見交換
11:15	5分	休憩
11:20	20分	「沖縄の潮間帯の昔と今」 水山 克
11:40	10分	質問、意見交換
11:50	10分	全体質問・意見交換
12:00		第1部終了
		昼休憩（12:00 - 13:30）

13:30	10分	第2部「サンゴ礁を伝えよう - 沖縄の環境教育の今」あいさつ・趣旨と流れの説明
13:40	20分	「話題の軽石を学びに！軽石から自然の営みを考える環境教育プログラム」丸谷 由
14:00	10分	質問、意見交換
14:10	20分	「石垣島発！サンゴ礁を学び伝えるプログラムの歩み」大堀 健司
14:30	10分	質問、意見交換
14:40	5分	休憩
15:45	25分	サンゴゆんたくタイム「もっと研究と教育をつなげよう！」 (説明5分 + ブレイクアウト20分) → ブレイクアウトルームを用いて、テーマを設けていくつかの部屋を作ります。 参加者は好きなテーマや話したい人のいる部屋へ途中でも自由に移動できます。
15:10	15分	各部屋からひとこと報告
15:25	5分	第2部終了 アンケートお願い・閉会あいさつ 中野 義勝
15:30		終了
15:35頃まで	5分	協議会事務局振り返り・連絡確認 Zoom クローズ

全体の司会進行：鹿谷 麻夕（沖縄県サンゴ礁保全推進協議会理事、しかたに自然案内）

【当日の内容】

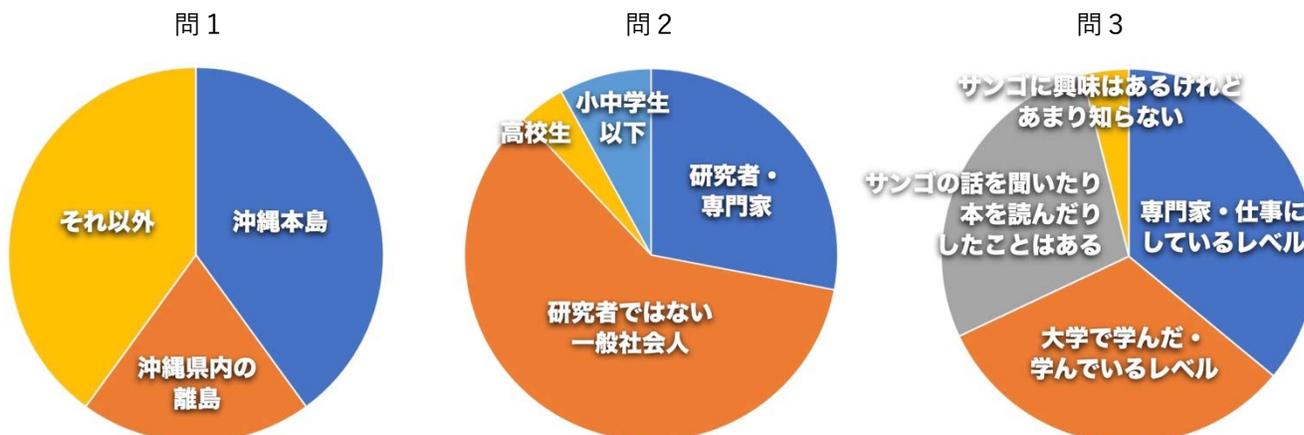
- 当日のZoom参加人数は30名台、第2部の「サンゴゆんたくタイム」時で34名であった。
- 開会挨拶：はじめに協議会の中野会長より開会の言葉を、またアラムコ・アジア・ジャパンの茨田弘美様より、本イベントに寄せたご挨拶を頂戴した。
- 第1部の開始に先立ち、進行役より、Zoomの投票機能を用いて当日参加者への簡単なアンケートを行った。

問1. 普段お住いの場所：沖縄本島、沖縄県内の離島、奄美諸島、それ以外

問2. あなたの属性は？：研究者・専門家、研究者ではない一般社会人、大学生・大学院生、高校生、小中学生以下

問3. サンゴやサンゴ礁についてどのくらい知っていますか？：専門家/仕事にしているレベル、大学で学んだ/学んでいるレベル、サンゴの話を聞いたり本を読んだりしたことはある、サンゴに興味はあるけれどあまり知らない、全然知らない

結果を円グラフで示す。今回、奄美諸島からの参加と大学生・大学院生の参加が見られなかった。



●「協議会のこれまでとこれから」中野 義勝（沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 会長）

「サンゴ礁保全行動計画に関わる沖縄県サンゴ礁保全推進協議会の取り組み（2023）」というタイトルで、国のサンゴ礁保全と沖縄県の取り組みのつながりや、これまでの協議会の活動についてご説明いただいた。

●質問コーナー「教えて！サンゴとサンゴ礁のなんでも質問箱」サンゴ研究者の皆さん

事前に寄せられた質問について、内容を整理した上で参加者同士で答えていただいた。
以下、主な答えをкаいつまんで紹介する。

- ・一番大きいサンゴはこれまで見た中で幅6m高さ3mくらいのハマサンゴ。
- ・サンゴの種数は世界で840種、分類研究が進み種数は増えてきている。1,000種くらいまでいきそう。
- ・うるま変動のメカニズムはわかっていない。琉球石灰岩の断層は何百メートルもの落差がある。
- ・海水温の上昇で増えているサンゴがあるのかははっきりしない。ミドリイシは減っており、代わりにコモンサンゴが増えているが一時的の可能性もある。
- ・サンゴはCO₂を固定して骨格を作るが、呼吸で排出もしている。プラスマイナスゼロ？CO₂収支はサンゴとサンゴ礁の状態によっても変わる。
- ・沖縄県内では30年前からサンゴ移植をしている。移植は保全活動のオプションの一つで、移植だけではサンゴ礁保全にはならない。失われたサンゴ礁に対して、移植できるのはごく限られた部分だけ。
- ・移植の生存数は移植の仕方やメンテナンスによって大きく変わる。県内で大規模に行われた恩納村では2016年までに3ヘクタール、12万本 → 当時世界最大、ただし2016年夏の大規模白化で85%が白化してしまった。
- ・移植したサンゴが産卵することで周囲にサンゴが増えていく効果を狙っている。すぐに評価するのは難しい。
- ・今の段階では、サンゴは人の手を加えてでも育てるべきだと考える。
- ・サンゴ礁がなくなっても魚は絶滅しないが、サンゴ礁の魚は減る。一時的に海藻食の魚が増えることはある。
- ・石西礁湖でサンゴ礁と稚魚の研究が行われている。
- ・2016年の白化以降に加入したサンゴが2020~2021年ごろに回復してきて、サンゴが元気に見えるようだ。新型コロナによる人の活動の減少の影響はよくわからないが、多少はあるかもしれない。
- ・浦添西海岸のサンゴ礁は被度が7割近くある貴重なサンゴ礁。イノーの浅瀬には海草藻場があり豊かな場所。
- ・身近なサンゴ礁を見に行き親しむこと、それを周囲に伝えることも守ることにつながる。またサンゴではなく私たちの暮らしに向き合い、汚れやごみを出さないなど海への負荷を減らす暮らしを考えることも大切。

●「沖縄のサンゴ白化の今」中村 崇（琉球大学 理学部）

サンゴという生物の基本のお話から、サンゴが白化するとはどういうことか、白化したサンゴはどうなるのか、国内での白化の過去の記録、2016年の石西礁湖における白化とその後の変化についてお話しいただいた。

●「沖縄の潮間帯の昔と今」水山 克（産業技術総合研究所）

西平守孝先生がまとめた「沖縄の潮間帯-1974」、またその約10年後の調査をまとめた「沖縄の潮間帯の人為的変革と攪乱（1991, 沖縄県環境保健部自然保護課）」を基に、それらの調査ポイントについて2015年現在との比較を行った調査研究についてお話しいただいた。

●「話題の軽石を学びに！軽石から自然の営みを考える環境教育プログラム」丸谷 由（ネコのわくわく自然教室）

自然学校では、教育活動の中からこれまで軽石を題材にしたプログラムを持っていたが、特に2021年の福徳岡ノ場の噴火による軽石漂着を契機に多様なプログラムを展開されている。今回は自然現象としての軽石の面白さや、

物事を多角的に考える力を養うような、絵本や授業などの教育プログラムについてお話しいただいた。

●「石垣島発！サンゴ礁を学び伝えるプログラムの歩み」大堀 健司（わくわくサンゴ石垣島）

2012年から始められたサンゴ学習推進団体「わくわくサンゴ石垣島」と、ここで2018年に作られた「サンゴガーディアンズスクール」のサンゴ学習プログラムについて、また学習到達度評価の手法などについてお話しいただいた。

●サンゴゆんたくタイム「もっと研究と教育をつなげよう！」

今回の話題提供者をブレイクアウトルームの4つの部屋に振り分け、参加者には好きな部屋に移動してもらい、それぞれ自由に交流をする時間を20分間設けた。また、終了後に各部屋での話題を簡単にご紹介いただいた。

- ・中村さん部屋：大きなサンゴがどこにどういうふうにあるのか、ハマサンゴも死んでいるものがある、など。
- ・水山さん部屋：喪失したかもしれない内湾群集はどういうものなのか、貝類以外の生物で調査があるか、データとして示すことの重要性など。
- ・丸谷さん部屋：プログラムを作る際のこだわり、プログラムの費用、団体をどう維持しているのか、サンゴ研究者とのつながりなど。
- ・大堀さん部屋：教育は10年後にしか結果が出ないこと、後継者作りのしくみや課題、大学機関とのつながり、大学が提供するサイエンスコミュニケーションとの関わりや人材育成についてなど。



図. 当日の Zoom 映像より、各話題提供者のタイトルと第2部まとめの画像

【後日視聴】

3時間25分の録画データのアドレスを参加申込者全員に連絡し、3月5日（日）の終了後から3月31日（金）まで視聴可能とした。

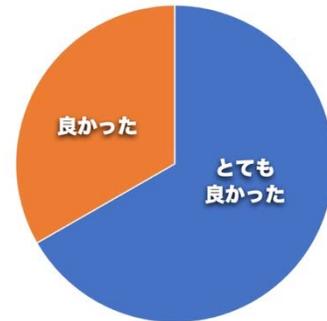
アクセス回数は115回、うち10分以上の視聴数は64回、30分以上は43回であった。

【事後アンケート】

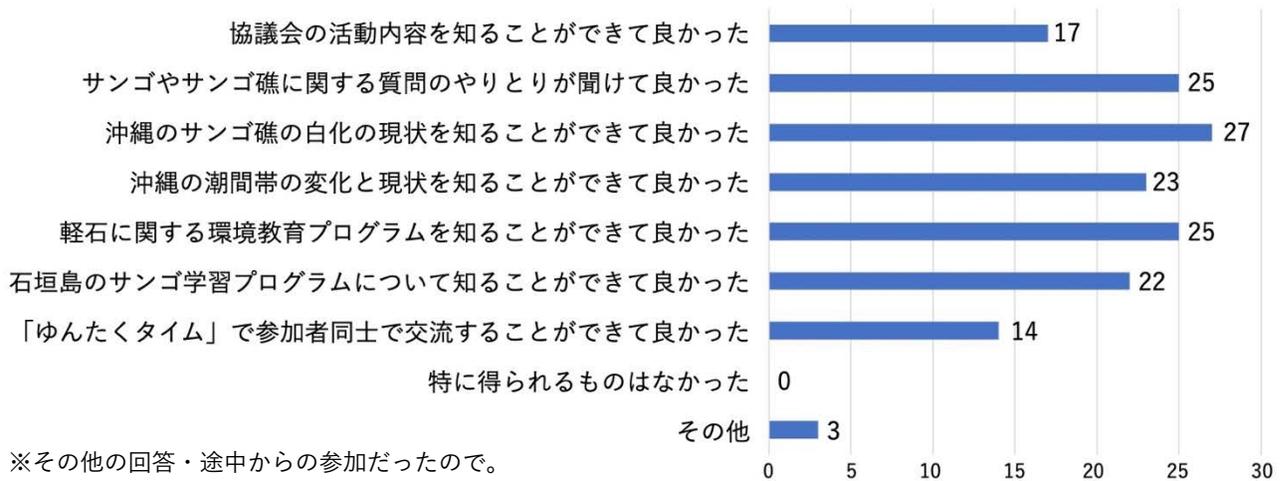
当日参加及び事後視聴をされた方々に向けて、Google formsを用いた事後アンケートを実施した。回答件数は36件であった。その結果は次の通り。

■今回のオンライン企画全体への評価をお教えてください。（36件）

- | | |
|--------------|------------|
| 1. とても良かった | 24 (66.7%) |
| 2. 良かった | 12 (33.3%) |
| 3. ふつう | 0 |
| 4. あまり良くなかった | 0 |
| 5. 良くなかった | 0 |



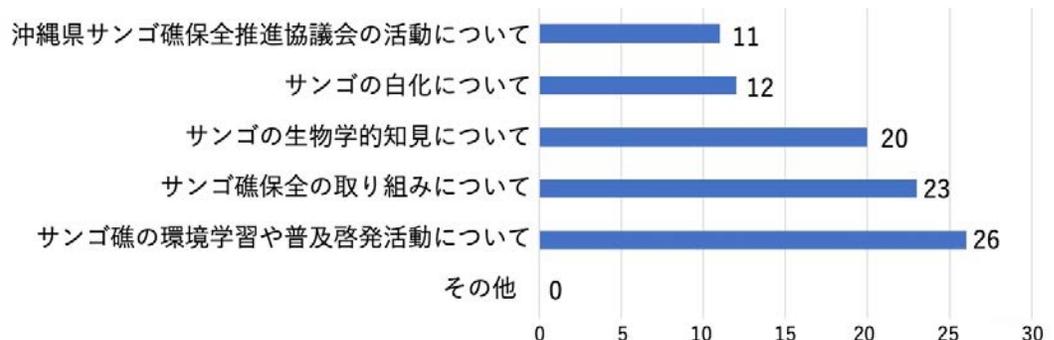
■次のうち、当てはまるものをお選びください。（複数回答可）（36件）



※その他の回答・途中からの参加だったので。

- ・モデレーターが上手。
- ・用事がありリアルタイムで聴くことができなかったので、ゆんたくタイムに参加したかったと思いました。アーカイブで聴くことができて良かったです。

■サンゴやサンゴ礁に関し、もっと深く/広く知りたいと思う内容があればお選びください。（任意・複数回答可）（35件）



■サンゴの白化について「分かりにくい」「もっと知りたい」と思う部分があれば教えてください。（任意）（4件）

- ・世界レベルでこれからもサンゴを守っていけるようにするために世界で行われているイベントも知って参加していきたいので、教えてください。
- ・最近では高水温白化だけではなく低水温白化やホワイトバンドルやバクテリア死亡やレイシガイ損傷ではなくミドリイシ類の先端部が生きてるが下部部が部分白化していたり、個体の一部だけ白化しているなど判りにくい白化が多いのでそれを見分けられる指標や画像があれば知りたい。
- ・白化からの回復であるとか、死んでしまった後のサンゴの回復（森林での倒木上更新のような現象）について知りたいです。
- ・活動の積極的な情報公開

■沖縄県のサンゴ礁保全について、ご意見やご要望があればお書きください。（任意）（6件）

- ・今日のようなプログラムをたくさん企画してくれると嬉しいです。
- ・サンゴの保全は、すでに取り組みを始められていると思いますが、今現在でている経緯か報告など、お聞かせいただくと嬉しく思います。成功例など、お聞きしたいです。
- ・海外の島嶼国でのサンゴ礁保全計画との連携を進めていってほしいです。
- ・活動拠点が関東、静岡なのですが、スノーケリング教室などを実施しています。知ることが大事なので、海の魅力を伝えるときに沖縄のサンゴのお話もしていきたいと思います。
- ・中野先生、鹿谷さん、そのほかの関係者の皆様長い時間ありがとうございました。遠方にいるのでズーム参加が出来て大変助かりました。
- ・次世代の自然保護人材を育成するために、自然が好きな人々が協力してゲーム会社を起業する。サンゴ成長ゲーム、生物多様性ゲーム、海ゴミゲーム、海岸線ゲーム、ドローン映像によるゲームなどを開発して、若い世代の取り組みを目指す。水中の美しい写真や動画をふんだんに使う。写真や動画は市民等から寄贈してもらう。そして利益の数%をサンゴ礁保全に寄付する。利益を出せるようになったら、メタバースの世界に進出する。

■こうした公開セミナー・ワークショップの形や内容、テーマなどについて、ご意見やご要望、事務局に伝えたいことがあればお書きください。今後の参考にさせていただきます。（任意）（9件）

- ・研究している先生方と繋がれて専門的な話が聞けると、やはり日頃地道に家族だけでビーチクリーンや活動しているよりもモチベーションがアップします。今日は本当にありがとうございます。
- ・今回、参加することが出来て良かったです。このような機会があって、サンゴについて考えることが出来ることが重要だと思います。ワークショップの開催にかかる準備・運営等、大変だと思いますが、開催していただいて、生物部の生徒達も新たな気づきや発見が合ったと思います。有難うございました。
- ・特に肩書のない一般人ですが、研究者と、現場で教育に携わる方の両方のお話が聞けてとても良かったです。また機会があれば参加させてください。
- ・次回はぜひ対面で実施したいです。お疲れ様でした。
- ・聴講プログラムでしたが、最後のブレイクアウトのお時間で、少しお話が出来る時間があり、全体ではなくて、グループに分かれたのは、良い時間でした。他のお部屋にも行きたかったのですが、その余裕はありませんでした。 本日はありがとうございました！
- ・離島に住んでいると、このようなオンラインでの開催は気軽に参加できるので有難いですが、リアルに会う機会もあると嬉しく思います。本日は、このようなイベントを計画いただき、ありがとうございました。得るものが大きく、とても有意義な時間であつという間に過ぎていました。ブレイクアウトルームは、全部の部屋に参加したいくらいでした。
- ・CO2排出削減のために沖縄県での石炭による火力発電をどうやって減らすかへの取り組みも知りたい。
- ・環境学習に興味を持っています。研究と学習アウトプットの連携が必要と強く感じました。両方の視点から学びを深められる機会、また開催していただけると嬉しいです。

- ・海が好きで、サンゴに興味を持っています。このような機会が研究者や教育に関わっているのではないのに参加できることがとても良かったです。専門的なお話が聞ける機会をありがとうございました。当日参加できなかったのが本当に残念ではありません。

2. サンゴ礁ウィーク2023タイアップイベント募集

【申込状況】合計9件のイベントタイアップの申し込みがあった。以下にそのイベントタイトルと実施日、主催者名を受付順に示す。各イベントは、協議会ウェブサイト内サンゴ礁ウィーク 2023 ページおよび Facebook ページにて順次広報を行った。なお、今回は広報のサポートのみで支援金の給付を行わなかったため、各イベントの実施結果の報告は求めている。

1. 第39回 地質調査総合センターシンポジウム「美ら海の産業と環境の調和を科学の力で～陸-沿岸-海洋研究の最前線～」(3/3)
主催：(国研)産業技術総合研究所 地質調査総合センター
2. 軽石のふしぎキャンプ(3/18-19)
主催：一般社団法人ネコのわくわく自然教室
3. サンゴとアートのお祭り「サンゴの日」喜界島(3/4-5)
主催：NPO法人喜界島サンゴ礁科学研究所
4. ホープスポット看板設置除幕式 安部海岸散策&紅型染め体験(3/4)
主催：ホープスポット看板設置実行委員会
5. 海Loveビーチクリーン2023(3/5)
主催：海Loveネットワーク
6. サンゴ保全 こんな活動やってます！(3/3-4)
主催：久米島町サンゴ礁保全再生活動地域協議会
7. 畑と海をつなぐサンゴのまつり2023(3/5)
主催：石西礁湖サンゴ礁基金(ゆうちょエコ・コミュニケーションの支援を受けて開催します)
8. 2023 恩納村 Save The Coral プロジェクト(3/5)
主催：恩納村企画課
9. 『キレイな海をつくろうスゴロク』&『マングローブ観察カヤック』(3/21)
主催：嘉手納町比謝川自然体験センター(協力：佐藤佳代)

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
Okinawa Coral Reef Conservation Consortium

トップ 会について 協議会活動 会員活動紹介 助成 お問い合わせ 事務局ブログ リンク集

サンゴ礁はみんなの大切な宝物！
「サンゴ礁ウィーク」は、そのことを、もう一度、思い起こすウィーク（週）です。
このページでは、サンゴ礁ウィーク2023に関するイベント情報を随時紹介いたします。
イベント登録はエントリーシートからお願いします。（更新：2023/2/14）
ページ内イラスト：大城愛香

2023. 2. 25 - 3. 31

この期間中のサンゴ礁保全につながるイベントをサンゴ礁ウィークにエントリーしよう！
エントリーシートはこちら！
サンゴ礁ウィークのサイトやSNSで広報！
お申し込み！

主催：沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

新型コロナウイルスの感染状況によっては開催中止になる場合があります。お出かけになる前に主催者等にご確認ください。

イベント一覧

3月3日（金）10:00～16:50（受付開始：9:30）
第39回 地質調査総合センターシンポジウム
美ら海の産業と環境の調和を科学の力で～陸・沿岸・海洋研究の最前線～
場所：沖縄県立博物館・美術館博物館 講堂
料金は：無料
定員：現地100名+オンライン500名（事前登録制）
お申し込み
お問い合わせ：E-mail: m-kaneko@aist.go.jp
主催：(協賛)地質調査総合センター地質調査総合センター一階

3月3日（金）～14日（火）
サンゴ保全 こんな活動やっています！
場所：久米島空港
料金は：無料
定員：なし・申し込み不要
お問い合わせ：E-Mail: j-kumejima@bb.wakwak.com
主催：久米島町サンゴ礁保全再生活動地域協議会

3月4日（土）5日（日）
サンゴとアートのお祭り「サンゴの日」 喜界島
場所：喜界島各所
料金は：有料・各イベントによる
定員：各イベントによる・要申し込み
お申し込み：0997-66-0200
E-Mail: college@kikaireefs.org
主催：NPO法人喜界島サンゴ礁科学研究所

3月4日（土）10時集合
ホープスポット看板設置除幕式 安部海岸散策 & 紅型染め体験
場所：安部の浜・安部公民館
集合は東部の久米郡美里町ビーチ入り口のホープスポット看板前
料金は：紅型染め体験 1人100円
定員：数量・定員なし。紅型染め体験：20名・要申し込み
お申し込み：電話：0997-66-0200（ジュゴンの里）
募集期間：3月3日（金）12時まで
お問い合わせ E-mail: okinawa@dupongossato.com
主催：ホープスポット看板設置実行委員会

3月5日（日）9:00受付スタート
海Loveビーチクリーン2023
場所：平野海岸 平久保灯台脇りべち
料金は：無料
定員：なし・申し込み不要
お問い合わせ E-mail: lulu.spalaw.hou@gmail.com
主催：海Loveネットワーク

3月5日（日）
2023 恩納村 Save The Coral プロジェクト
場所：恩納村真栄田漁港・同字地公民館（Green Clean）・同久良波海岸（ビーチクリーン）
料金は：無料
定員：申し込み不要（希望人数をメールで連絡）
お問い合わせ E-mail: kikaku@vil.onna.lg.jp
電話：098-966-1201
主催：恩納村企画課

3月5日（日）10:00～16:30
サンゴ礁ウィーク2023オンライン
【知る、話そう、伝えよう 沖縄のサンゴ礁の今！】
場所：オンラインセミナー・ワークショップ
料金は：無料
定員：上限100名
参加申し込みフォーム
お問い合わせ：E-mail: m-kaneko@aist.go.jp
主催：沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
協賛：アラムコ・アジア・ジャパン株式会社

3月6日（月）10:00～16:00
畑と海をつなぐサンゴのまつり2023
場所：久宇良公民館、近くの畑、海
料金は：無料
定員：申し込み不要（サバコは先着順、ひまわりの種まきをした人優先）
お問い合わせ 電話：0980-87-0935
共催：NPO法人石西瀬瀬サンゴ礁基金、久宇良公民館、畑地をもっと元気にするプロジェクト（芝浦工業大学）
ゆうちエコ・コミュニケーションの支援を受けて開催します

3月18日（土）～19日（日）（1日2日）
硯石のふしぎキャンプ
場所：ネコのわくわく自然教室（中城村当間822-1）
定員：25名、要申し込み
料金は：子ども1名2,500円
対象：観察会は干渉を歩ける程度の子ども可
お申し込み：公式LINE（3/13まで）
お問い合わせ：E-mail: info@mecho-hp.com
電話：098-895-6404
主催：（一社）ネコのわくわく自然教室

3月21日（水）13:00～16:30
『キレイな海をつくるラスゴロク』& 『マンガロープ観察カヤック』
場所：裏手納納比謝川自然体験センター
料金は：無料
定員：12組（6親子での参加）先着順・要申し込み
お申し込み：電話：098-989-4222
共催：裏手納納比謝川自然体験センター（協力：佐藤佳代）

【共催】 沖縄県
2023年のサンゴ礁ウィークは2023年2月25日（土）から3月31日（金）です。

Sponsors
沖縄県 環境省 財団法人 知識産業 環境科学センター aramco
トップ 会について 協議会活動 会員活動紹介 助成 お問い合わせ 事務局ブログ リンク集
沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
Copyright ©2008 Okinawa Coral Reef Conservation Council. All Rights Reserved.
Powered by FC2ホームページ

図. 協議会ウェブサイト内サンゴ礁ウィーク 2023 ページ

3. 最後に

今回の企画にあたり、実質的な準備を1月から始め、非常に短い時間でここまでの企画を作り上げることができ、協議会理事の皆様及び講師の皆様には多大なご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。また、事前申込みが90名を超え、サンゴ礁保全への関心とこうした企画へのニーズを改めて感じました。対面形式のイベントが復活する中、島嶼で構成される地域性や、事後視聴の希望が多かったことと合わせて、オンライン形式への一定のニーズがあることも示されたと思います。同時に対面開催の希望もあり、今後は多様なニーズに対応できる企画が求められます。

参加者からの評価は非常に満足度の高いものでした。このイベントが、サンゴ礁保全と環境教育に関わる最新の研究や活動を紹介する場として機能したと思います。また、一方的な情報提供ではなく、事前に質問を募って答えたり、自由に意見交換をする場を設けることで、一般市民と第一線の専門家をつなげる場にすることもできました。一つ残念なのは、大学生・院生の参加が見られなかったことです。また事後アンケートからは、協議会への要望や課題が読み取れます。今回の経験や寄せられた意見が、今後の協議会活動をより良いものとして進めていく上での材料となれば幸いです。

最後に、本協議会活動に協賛をいただきましたアラムコ・アジア・ジャパン株式会社様にも、心から御礼申し上げます。

関係者及びご参加の皆様、どうもありがとうございました。（サンゴ礁ウィーク 2023 事務局 / 広報委員長 鹿谷 麻夕）

■企画制作・報告書作成：沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク 2023 事務局 / 広報委員会

鹿谷麻夕（しかたに自然案内）、大堀健司（エコツアーふくみ）、小菅陽子、安部真理子（沖縄リーフチェック研究会）